

国立病院機構 福山医療センター レジメン登録・管理表

レジメン名称	大腸癌 Cetuximab+FOLFIRI療法 (infuser pump)
疾患名	大腸癌
診療科名	外科
登録医師名	岩川 和秀
適応	大腸癌

臨床区分

<input checked="" type="checkbox"/> 日常診療
<input type="checkbox"/> 単施設自主研究
<input type="checkbox"/> 他施設自主研究
<input type="checkbox"/> 市販後臨床研究
<input type="checkbox"/> 治験

抗癌剤適応分類

<input checked="" type="checkbox"/> 進行・再発化学療法
<input type="checkbox"/> 術後化学療法
<input type="checkbox"/> 術前化学療法
<input type="checkbox"/> 局所療法
<input type="checkbox"/> その他

登録日	2012年8月4日
1クール期間	14日
実施回数	/回

Rp	薬品名称	標準投与量	単位	投与方法	ルート	投与時間	投与日										注意コメント	
							day1	-	-	-	-	day8	-	-	-	-		-
1	NaCl注射液用100単位/mL注射液 100	1	本	静注			●	-	-	-	-	●	-	-	-	-	-	
2	レスタミンコーワ錠 10mg	5	錠	経口			●	-	-	-	-	●	-	-	-	-	-	
3	生理食塩液	250	mL	点滴静注	メイン		●	-	-	-	-	●	-	-	-	-	-	血管確保用 ※開始から終了までECGモニターを装着すること
4	生理食塩液 パロプセトロン静注0.75mg デキザート注射液 6.6mg	100 1 1	mL 瓶 瓶	点滴静注	側管	15min	●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
5	生理食塩液 デキザート注射液 6.6mg	100 1	mL 瓶	点滴静注	側管	30min	-	-	-	-	-	●	-	-	-	-	-	
6	生理食塩液 アービタックス注射液	300 400	mL mg/m2	点滴静注	側管	120min	●	-	-	-	-	●	-	-	-	-	-	2回目以降 250mg/m ² を60minで投与 2回目は生理食塩液250mLに混注 (予備容量: 140mL) ※濃度0.83~4mg/mLになるよう調製する。 7-17カカ投与終了後、1時間は経過観察すること。 2回目以降は経過観察を省略可能
7	5%糖液 レボホリナート点滴静注用	250 200	mL mg/m2	点滴静注	側管	120min	●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	レボホリナートとイリノテカンは同時に
8	5%糖液 イリノテカン塩酸塩点滴静注液	250 150	mL mg/m2	点滴静注	側管	90min	●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	レボホリナートとイリノテカンは同時に
9	フルオロウラシル点滴静注 生理食塩液	400 50	mg/m2 mL	点滴静注	側管	全開で	●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	レボホリナート終了後 15分以内で投与終了
10	フルオロウラシル点滴静注 生理食塩液	2400 50	mg/m2 mL	持続点滴	側管	46h	●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	インフューザーポンプ (46時間) 全量110mLに調製する。
11	NaCl注射液用100単位/mL注射液 100	1	本	静注			●	-	-	-	-	●	-	-	-	-	-	

備考欄

文献

減量・中止基準

mFOLFOX6, FOLFIRIにおいては同レジメンにおける注意を参照

<Cetuximabの減量基準>

Grade3以上の皮膚障害の発現回数	本剤の投与	本剤投与後の状態	本剤の用量調節
初回発現時	投与延期	Grade2以下に回復	250mg/m ² で投与継続
		回復せず	投与中止
2回目発現時	投与延期	Grade2以下に回復	200mg/m ² で投与継続
		回復せず	投与中止
3回目発現時	投与延期	Grade2以下に回復	150mg/m ² で投与継続
		回復せず	投与中止
4回目発現時	投与中止	-	-